

令和4年度 ひと・まち交流館 京都の共用部分の管理に関する 事業報告

1 概説

ひと・まち交流館京都は、市民の方々が自主的に行う、福祉、ボランティアをはじめとした公益的活動を支えるため、会議、情報交流等に活用できる大小の会議室を有し、本年度19年目を迎え、多くの方々に利用されてきました。

京都市の指定管理者として託されている共用部分の管理運営では、会議室の貸出業務や設備の保守管理だけではなく、地域住民との連携等、本会の強みを活かし、京都市が求めている取組、運営を適切に行えるような体制づくりを行っています。

また、市民目線に立った公平公正なサービスに努めており、令和4年6月からは一般会議室の有料化が実施されましたが、来館者数は、コロナ前に戻りつつあります。

一方、地球環境の変化に伴い、近年大規模な災害が多発していることから、本会としても、これまで実施してきた環境負荷軽減の取組を一層促進するとともに、本施設が地域の避難所として、その役割をしっかりと果たせるように取り組んでいます。

2 成果と課題

(1) 効果的、効率的な施設運営管理

行政、関係団体、委託業者等との情報共有、連携強化により、コロナ禍での対応を含め、起こる課題等に迅速かつ的確に対応すると共に、業務マニュアル等の見直しを行い、効果的、効率的な施設運営に努めてきましたが、令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症予防の観点から、利用者が開催を見送られてきました。

また、令和4年6月からの一般会議室の有料化により、会議室の利用率が、6月においては3%増加したものの、7月以降は、全ての月において、5%から18%の間で減少しています。

令和5年3月13日からは、感染防止対策の国の方針として、マスク着用が個人の判断に委ねられることになりましたが、これまで行ってきたドアノブ、机、椅子等の消毒や、会議室への消毒液の設置については、感染予防の観点から当面の間、継続していく予定です。

老朽化している施設、設備管理については、設備管理業者との緊密な情報共有等により、効果的、効率的な維持管理に努めてきましたが、開館から20年が経ち、大規模な設備更新が必要であることから、長期的な視点での施設のあり様を検討していく必要があります。

(2) 災害時に備えた施設運営の検討

毎年のように、各地で自然災害が発生し、近年では、これまでに経験したことがないような規模の災害が発生していることから、更なる災害対策が求められています。特に、当館は、菊浜学区の避難所に指定されていることから、菊浜連合会と連携し、避難所運営のあり方について検討してきました。

また、令和5年2月には、京都市が菊浜グランド内に災害用マンホールトイレを設置していることから、避難所運営マニュアルが、より実践的なものとなるように取り組む必要があります。

(3)環境負荷軽減に向けた取組の推進

本会では、平成19年度に、京都市における環境負荷の管理・低減規格であるKESステップ1を認証取得して以来、平成24年度にはステップ2を認証取得し、令和3年度からは、本会としての特色を生かした環境負荷低減の取組を行うことで、職員の環境に対する意識は高まっています。

コロナ禍においては、実施を見送らざるを得なかった活動も一部ありましたが、館全体で節電や啓発活動に取り組んでおり、全般的には、しっかりと環境負荷低減の取組を進めることができました。

今後は、令和6年度の更新審査に向けて、職員が、より主体的に活動できるような取り組みを検討していきます。

3 事業内容

(1)会議室等の貸出・管理

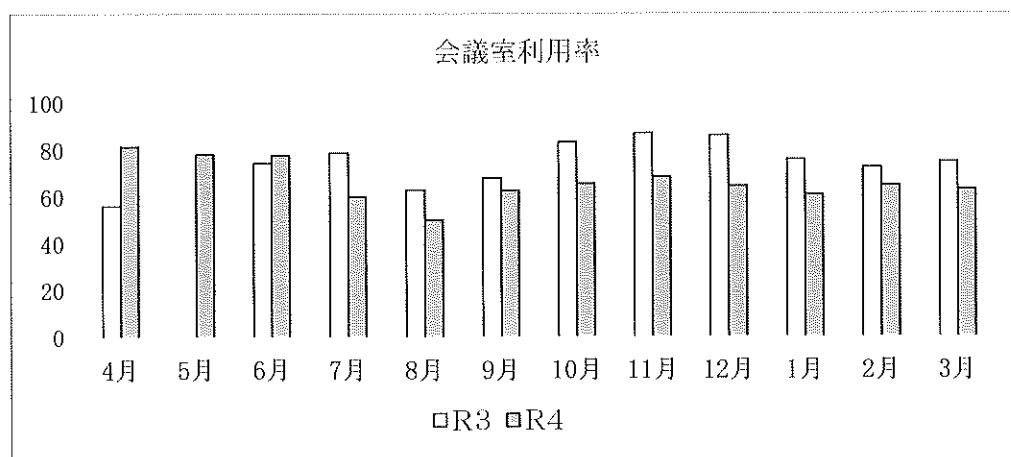
ア 会議室貸出予約抽選会の実施(12回)

イ 4センター設置条例に基づく会議室貸出及び相談の実施

ウ 利用実績

月	来館者数(人)			会議室利用率(大会議室除く、%)		
	R4	R3	増△減	R4	R3	増△減
4月	15,123	11,516	3,607	81.6	56.2	25.4
5月	14,257	3,610	10,647	78.3	0.0	78.3
6月	15,494	11,779	3,715	77.8	74.5	3.3
7月	18,918	15,760	3,158	60.2	78.9	△ 18.7
8月	16,765	11,984	4,781	50.3	63.0	△ 12.7
9月	17,969	9,227	8,742	62.9	68.1	△ 5.2
10月	19,513	14,792	4,721	65.7	83.5	△ 17.8
11月	20,261	15,442	4,819	68.6	87.2	△ 18.6
12月	16,570	12,669	3,901	64.6	86.2	△ 21.6
1月	15,802	10,168	5,634	61.0	76.0	△ 15.0
2月	16,852	10,165	6,687	64.9	72.7	△ 7.8
3月	20,082	13,553	6,529	63.2	74.9	△ 11.7
合計・平均	207,606	140,665	66,941	66.6	68.4	△ 1.8

■ひと・まち交流館京都会議室利用率(単位：%)



(2) 安心・安全・快適な利用の促進

- ア 施設設備の日常的・定期的点検及び修繕の実施
- イ 市民目線に立った会議室利用時間の推進
- ウ 業務委託業者との定期ミーティング(24回)及び研修(12回)の実施
- エ 案内モニターの更新(12回)
- オ 関係機関との連携

(3) 環境負荷軽減の取組の推進

- ア KESステップ2における持続可能な取組の実施
- イ 環境委員会(12回)及び環境マネジメント担当学会議の開催(12回)
- ウ 交流館内各センター・団体と連携した環境負荷軽減の取組の実施(24回)
- エ 交流館内各センター・団体による周辺の一斉清掃の実施(12回)

(4) 防災・防火活動の推進

- ア 交流館全体での火災対策訓練の実施(2回)

(5) 館内各センター・団体との連携・促進

- ア 共同管理委員会の開催(12回)
- イ 交流館内各センター・団体との連絡調整

(6) 地域との連携促進(菊浜学区)

- ア 区民会館他の鍵の交換
- イ 避難所設置時の協議
- ウ 菊浜グラウンド防災用トイレ設置に向けた協議

資金収支計算書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位: 円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	経常経費補助金収入	200,000	200,000		
	その他の補助金収入	200,000	200,000		
	受託金収入	158,965,000	158,965,000		
	市受託金収入	158,965,000	158,965,000		
	事業活動収入計(1)	159,165,000	159,165,000		
	支出				
	人件費支出	32,757,000	31,088,794	1,668,206	
	職員給料支出	23,757,000	22,495,546	1,261,454	
	職員賞与支出	4,500,000	4,207,510	292,490	
	法定福利費支出	4,500,000	4,385,738	114,262	
	事業費支出	129,206,000	119,336,269	9,869,731	
	消耗器具備品費支出	1,013,000	1,012,790	210	
	光熱水費支出	14,170,000	14,169,309	691	
	修繕費支出	8,380,000	8,379,620	380	
	通信運搬費支出	2,058,000	2,057,723	277	
	業務委託費支出	93,647,000	93,646,277	723	
	保険料支出	71,000	70,550	450	
	租税公課支出	9,867,000		9,867,000	
	事務費支出	13,241,000	11,378,092	1,862,908	
福利厚生費支出	113,000	112,504	496		
旅費交通費支出	4,000	3,160	840		
研修研究費支出	142,000	141,700	300		
事務消耗品費支出	1,235,000	1,234,200	800		
印刷製本費支出	257,000	256,190	810		
修繕費支出	62,000	61,622	378		
通信運搬費支出	15,000	14,532	468		
業務委託費支出	6,569,000	6,568,795	205		
賃借料支出	1,378,000	1,377,289	711		
租税公課支出	3,466,000	1,608,100	1,857,900		
事業活動支出計(2)	175,204,000	161,803,155	13,400,845		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△16,039,000	△2,638,155	△13,400,845		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
施設整備等支出計(5)					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	16,489,000	3,088,155	13,400,845	
	備品等更新積立資産取崩収入	10,451,000	3,088,155	7,362,845	
	修繕積立資産取崩収入	6,038,000		6,038,000	
	その他の活動収入計(7)	16,489,000	3,088,155	13,400,845	
支出					
拠点区分間繰入金支出	450,000	450,000			
拠点区分間繰入金支出	450,000	450,000			
その他の活動支出計(8)	450,000	450,000			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	16,039,000	2,638,155	13,400,845		
予備費支出(10)					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)					
前期末支払資金残高(12)	11,362,000	11,362,636	△636		
当期末支払資金残高(11)+(12)	11,362,000	11,362,636	△636		